

## 平成 18 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

江戸東京博物館「高齢者げんきプロジェクト」(館長：竹内 誠)

平成 5 年 3 月開館

### 【授賞理由】

江戸東京博物館「高齢者げんきプロジェクト」が行った博物館の所蔵地図を活用したプログラムの試案試行は認知症予防や認知症対策に大きな効果を発揮し、また分野や世代を超えた連携を呼びかけました。これらの活動は地域にある公共施設のあり方に大きな示唆を与えるものである。本賞を授与するとともに今後ますますの活躍を期待するものである。

### 【事業概要】

- ・ 地域や高齢者に向けた博物館活用の促進，博物館活動の発展のための調査・研究（高齢者元気プロジェクト）
- ・ セミナーや講座の開催などの生涯学習支援，子どもや学校団体に向けての教育活動・学習支援
- ・ 江戸東京の文化，歴史に関する資料の収集・保存・展示
- ・ 都市の歴史文化についての調査・研究

### 【事業活動・概要】

江戸東京博物館では、博物館がもつ「博物館資源」(資料・人・場)を活用して高齢者の心身の健康の増進を目指す「高齢者げんきプロジェクト」を推進してきました。博物館には資料を収集・整理・保存し、展示をして、その時代に生きた人びとの文化や歴史を後生に伝える使命があります。この博物館本来の役割を、高齢者の「げんき」づくりに役立てようと実施しています。

博物館展示室内に昭和初期の住宅の一部を再現した「体験コーナー」を設置し、「博物館資源」を活用して高齢者の心身の機能を活性化させるプログラムを開発するための調査・実験の場としました。そこでの結果を踏まえ、博物館が所蔵する地図を使った「地図づくりプログラム」を作成しました。

プログラムの効果を検討した結果、参加した高齢者に、認知機能（語の流暢性、符号問題）、感情状態、および日常における運動量における改善効果が認められました。また、プログラムに参加した高齢者には、子どもへの昔語りや、博物館への地域情報の提供など、引き続き博物館で活躍してもらっています。

本プロジェクトは、高齢者が自身の経験や能力を発揮しながら社会参加や社会貢献を実現し、アクティブなライフスタイルを維持することに寄与するものです。今後、地域コミュニティと連携をとりながら活動を広げていくことによって、認知症予防活動として発展が見込まれます。